

(^_^)v 趣味に生きる (第44回) ~. ~. ~. ~. ~. ~.

“風と自然”を感じながら 休日を過ごしてみませんか？

岡 尚 人

(ラジオメーター株式会社)

◆はじめに

皆さんも様々な趣味をお持ちかと思います。私も、これまで多くの趣味を“つまみ食い”的に楽しんできました。その中でも“バイク”は10代から今でも続けている数少ない趣味で、これからは身体が許す限り継続してゆきたい趣味です。今回は、“バイク=オートバイ=二輪車=鉄馬”の楽しさを共有できたらと思っています。

◆バイクを取り巻く環境

さて、ライダーを取り巻く環境についてちょっと整理してみます。“バイク”の世界では日本が圧倒的にリードしており、“HONDA”“YAMAHA”“SUZUKI”“KAWASAKI”といえは世界中のライダー憧れのブランド、売り上げ規模でも、4社で世界の市場の約50%をしめているそうです。しかし、国内に目を向けてみると、高等学校を



イラスト 相棒と私

中心に進められている“3ない運動(バイクの免許を取らない、バイクを買わない、バイクに乗らない)”の影響で若者のバイク離れが進み、ライダー人口は減少の一途をたどっていました。まあ、“暴走族”、“バイク事故による死亡者増”が社会問題となっていた時代、正しい運動であると思います。そんな“3ない運動”が声高に言われる前に青春時代を過ごした私は“バイク”に出会うことができましたわけです。

昨今、青春時代をバイクとともに過ごし、時間的に余裕ができた私と同世代の方々が“リターンライダー”として復帰し始めたため、ここ数年は登録件数が増加状況のようです。そんなリターンライダー達に人気なのが、国産バイクではなく青春時代に憧れた“King of Motorcycle =ハーレーダビットソン”です。

◆二輪の魅力ってなんだろう

さて、バイクの楽しさについて私の最近の楽しみ方をご紹介します。

私は、16歳の誕生日に“原付免許”を取得してから今日までバイクに乗り続けています。その理由、魅力について今一度考えてみました。

10代のころは、やはり“スピード感”でしたね。自転車では必死に頑張って30km/hですから一ひねりで60km/h、圧倒的なスピード感です。しかし、齢を重ねるにつれ“スピード感”ではなく“風を感じながら走る”ことが無性に楽し

くなり、春夏秋冬を感じながら、山道、海岸線、草原を走る解放感は言葉には表せない清々しさです。そんなバイク好きの私の“趣味の世界”も現在の相棒“ハーレーダビットソン スポーツスター”(イラスト、写真1, 2)との出会いにより、また一つ大きく動き出しました。そんな楽しみを3つご紹介させていただきます。

1. 仲間との出会い

ハーレーダビットソン社は、ユーザー間の交流の場を積極的に設けることにより、口コミによる宣伝、顧客の抱え込みを推し進めています。そのため、専門誌、専門Webサイト、ユーザー間におけるSNS、コミュニティーサイト、掲示板が数多くあり、かつ活発に運営されています。私も相棒購入をきっかけにハーレー専門コミュニティーサイト“Virgin-Harley”に登録し参加しました。そこで知り合ったのが現在の仲間たちです(写真3)。

今までは、バイクに関しても仕事関係の方々(同僚、顧客、取引先)とお付き合いすることが



写真1 相棒“ハーレーダビットソン スポーツスター”



写真2 相棒と私



写真3 仲間たち

多かったのですが、ここで知り合った仲間は、年齢、性別、職種(会社経営、会社員、OL、主婦、カリスマ美容師、建設業等々)もまちまちで、上下関係なくフラットに付き合える仲間たちで、彼らとツーリングで一緒に走り、キャンプで盛り上がり、オフ会で飲みながら親交を温め、今ではかけがえのない仲間たちです。この齢になって、こんな仲間達と知り合えたきっかけをくれた相棒に感謝しています。

2. 夏のツーリング

幸い完治したのですが仲間の一人が、がんを患い手術、入院し、その入院期間中に“目標”を持つ意味で始まったのが“夏のロングツーリング企画”です。企画としては、家族の承諾を得た上で、夏休みを皆で同じ時期に取得し10台前後の台数で5泊～6泊のツーリング(バイク旅行)に出かけようというものです。この企画も2016年で8年目、九州、北海道、東北、四国、北陸、中国地方とほぼ日本を一周、18,000kmに達しました。ちなみに、近畿、中部、関東は近場(1泊または日帰り)なのでこの企画では対象外となっています。このツーリングでは、皆で走り、各地の名所を巡り、名物に舌鼓を打ち、毎晩盃を傾けながら1日の出来事を語らい、笑い、



写真4 北海道おろろんストリート

反省し、最高の1週間を過ごします。どの地方も素晴らしい思い出ばかりです(写真4,5)。

すでに日本各地方を回りつくしたため、2015年は2度目の東北ツアーに行ってきました。次



写真5 白川郷



写真6 関東スポーツスターミーティング集合風景

回は再び九州へ行く予定です。最終的にはハーレーダビットソンの母国であるアメリカ、特に“ルート66”を走るのが夢となっています。

3. 関東スポーツスターミーティング

先に紹介した通り、ハーレーダビットソンのユーザーはユーザー同士の関わり合いを大切にしています。そこで開催されているのが“ミーティング”といわれているイベントです。

このミーティングとは、ただハーレーダビットソン ユーザーが集まり、バイクについて語らう場であり、通常半日～1日で終了します。この“ミーティング”は自然発生的に生まれ、ユーザーがメーカーとは関係なしに自主的に実施しているものがほとんどです。私も、スポーツスターユーザーが集まる“関東スポーツスターミーティング”のスタッフとして参画しており

企画、運営、Web ページを担当しています。2016 年で 14 回目を迎えるこのミーティングは、毎年春に開催され 500～600 台のハーレーダビットソン スポーツスターが集まってきます。(写真6)。

2009 年よりは、本活動がなんらかの社会貢献が出来ないかとの思いより、参加費 1,000 円を徴収し、駐車場代等の実費を差し引いた金額、そして、バイク関連企業様からも協賛品を募りチャリティーオークションの開催、スタッフの不用品を持ち寄りチャリティー販売会など実施し集まった総額を、様々な団体(ユニセフ、日本赤十字社東日本大震災募金等)に“募金”を行

っています。2015 年開催の第 13 回終了時点で募金総額は 200 万円を超えました。このような“バイク”という共通の趣味を通じて社会貢献でき、スタッフ、参加者一同喜んでいきます。この活動にご興味がありましたら“関東スポーツスターミーティング”で検索してみてください。私が作成、管理しているホームページがヒットするはずですよ。

◆まとめ

脈絡のない話で恐縮ですが、オートバイの魅力が皆様に伝わりましたでしょうか。さあ、皆さんも“風と自然”と一緒に感じてみませんか？

読者の方にはさまざまな趣味をお持ちの方がおいてかと思えます。
編集室では本コラムへのご投稿を心よりお待ちしております。